

第 172 回東葛しぜん観察会

自然豊かな利根運河・理窓公園で春を満喫 下見レポート

前田悦子（千葉市）

昨年、同時期同地で行った指導員による研修観察会の記録をもとに ①ふれあい橋で利根運河観察、②利根運河でカラスカラスノエンドウ・カスマグサ・スズメノエンドウの違い、③コガタリハムシとエゾノギシギシの関係、④ツバキの花粉運搬者は？⑤ヤドリギといった観察ポイントを設定して下見を開始。

カラスノエンドウはあるもののスズメノエンドウ・カスマグサはなかなか見つかりません。しかも花のない時期のカラスとカスマの見分けがわかるようでわかりません。コガタリハムシの成虫に出会えないなか真っ黒な幼虫と卵を発見。キジ・オオバン・モズにカモたちと野鳥観察しながら土手をのんびり散策。イネ科のハルガヤ・コウボウの甘い香りに春を味わい、ノジスミレを見つけて春を感じながら理窓公園へ。アマナはようやくつぼみが上がってきたところ、コナラやマテバシイのドングリの芽出しに足を止めます。イヌツゲには虫こぶがみつかりました。満開のツバキの蜜をなめて「虫媒花より蜜の量が多くて味が薄いと聞いているけれど十分甘いね」。

ツバキに夢中になっているとどこからかカエルの鳴き声が。アズマヒキガエルの雌が飛び出してきました。色味が黄色く思い描いているヒキガエルとの違いにビックリ。カエルと遊ぶことしばし。強い風が吹き雨も降り始めました。小雨になったところで上を見上げるとエノキの梢にヤドリギがついています。下を見るとヤドリギの花がたくさん落ちていました。5mmほどの小さな小さな花、どうやら雄花のようです。解散場所にはバイモ・キクザキイチゲ・ニリンソウ・キランソウ・ヒメウズなど春の花たちが。4月3日の本番にはアマナやジロボウエンゴサクなどスプリングエフェメラルの開花に期待高まる下見会となりました。

本番当日、前日の夜には曇りの予報が朝起きてみれば雨の予報。雨天中止。久しぶりの一般観察会ということで指導員一同張り切っていたのに～残念！



運河にはセイヨウアブラナが咲き スプリングエフェメラル:アマナは蕾 アズマヒキガエル♂